田布施工だより

総務部発行

平成二十一年度のスタートにあたって

田布施工の生徒としての誇りをもとう

校長　山本達也

経済不況の真っただ中ですが、今年も桜は見事な花を咲かせ、夢膨らむ新年度を迎えることになりました。二、三年生は、もう一度これまでの高校生活がどうであったか振り返り、また卒業までの計画はこれでよいかを見直し、覚悟をもってスタートしてください。また新入生はこれから始まる高校生活に早く慣れ、夢の実現にむけて一歩一歩自分のペースで進めるようになってください。

さて、この春休み、日本人として、大変嬉しいことがありました。ワールド・ベースボール・クラシックで日本が優勝し、二連覇を果たしたことです。興奮しながら応援した人も多かったのではないでしょうか。

なぜ、こんなに興奮し嬉しいのでしょうか。多分、同じ日本人であるという意識があり、そのことに誇りをもっているからではないでしょうか。日本の大臣が海外での失態を理由に辞任するということがありましたが、そのときには反対に、日本人として残念、と思うわけです。

そういえば、国体などでは山口県の選手を応援しますし、高校野球では南陽工業高校を応援します。もっと小さなスケールでも、例えば町内で地区対抗運動会のようなものがあった場合、日ごろあまり親しくなくても同じ地区の人を応援します。家族が出場すれば更に興奮し応援します。クラスマッチでもそうです。

どうやら人は、自分の所属するグループに、誇りや愛着か、それに近い感情を持つ傾向があるようです。そしてそのグループが、あるいはそのグループの一員が活躍すると嬉しいし、反対の状況になると悲しい、残念、と感じるのです。

なぜこんなことを書いたかというと、皆さんに田布施工業高校の生徒であるということ、このグループの一員であることを忘れずに、誇りをもって行動して欲しいと思うからです。君たち一人ひとりの活躍や成長は、みんなが嬉しいし、その反対はみんなが悲しいということです。校外においても「田布施工業高等学校」と書いた旗を背負って歩いているという気構えで行動して欲しいと思います。自然と自分の行動に責任をもつようになるでしょう。野球の話からずいぶん飛躍しましたが、新学年のスタートにあたり、田布施工業高校の生徒であることに誇りをもって行動することをお願いしておきたいと思います。

田布施町桜祭り

地域行事に参加しました

今年の桜の開花は例年より早かったため、四月五日（日）には散ってしまわないか心配していましたが、とても穏やかな春の陽気の中、満開の桜のもとで「田布施町桜祭り」が行われました。

昨年より、本校メカトロ研究部はこの桜祭りにて「ロボットアメリカンフットボールショー」を行っています。昨年度、本校メカトロ研究部は「ロボットアメリカンフットボール」の全国大会で「経済産業大臣賞」を受賞し町の広報にも載せていただいたため、昨年よりもずいぶん多くの子供たちが訪れていました。

三十分ごとの公演で計十回ショーを行いましたが、最初はぎこちなかった本校メカトロ研究部の生徒も、回を重ねるごとに小学生と自然にふれ合うことができるようになり、楽しいショーを行うことが出来ました。これからも、地域の行事に積極的に参加させていただきたいと思います。

フレーフレー！田布施工！！

第41回平和カップ広島柔道大会

男子団体　予選リーグ
△田布施工　０－５　崇徳Ｂ　○
△田布施工　０－３　真颯館Ａ○

女子団体予選リーグ
△ 田布施工業　１－２　鳳凰Ｂ　○
△ 田布施工業　０－３　帝京Ａ　○